



福島選手、廣田選手、
西本選手からのメッ
セージ動画もCheck ▶



Interview

福島 由紀
廣田 彩花



笠松町総合会館を練習拠点とする
バドミントンチーム「丸杉Bluvic」所属
のフクヒロペアこと福島選手・廣田選手。
東京オリンピックでの金メダルも有力視
されるお二人に2021年の抱負をお聞
きしました。

二人で100%以上の力を出せるように。目の前のことを

いろんな気持ちを味わった1年

- 3月の全英オープンに続いて、10月のデンマークオープンでも優勝し、ワールドツアー2連勝と、2020年は躍進の1年でした。

(福島) 優勝できて嬉しい反面、コロナでオリンピックが延期になってしまって、いろんな気持ちを味わった1年でした。でも、バドミントンに関しては、しっかり結果を出せた1年だったので、この流れをオリンピックイヤーに繋げていきたいと思います。



(廣田) コロナで大会やオリンピックが延期になって、モチベーションの面では大変でしたが、海外遠征などで忙しかった今までと違って、練習時間をたっぷりとることができました。その点はすごくプラスになったと思っているので、色々ありましたが、充実した1年だったんじゃないかなと思っています。

練習できることが当たり前じゃない

- 活動拠点を岐阜に移してから、練習環境も大きく変わりましたね。

(福島) 今まで自社体育館のあるチームに所属していたこともあって、体育館を借りた経験はありませんでした。岐阜に来て総合会館をはじめ色々な体育館を使うようになって、照明だったり、風だったり、毎回異なる環境で練習することで、対応力がつuitたと感じています。



(廣田) 総合会館で練習させてもらうことが多いんですが、なにか新鮮な気持ちというか、自社体育館がない分、練習できることが当たり前じゃないんだって感じるようになりました。練習場所を提供してもらっていることに感謝して、常に初心に立ち返って練習を積める環境をプラスに捉えています。

丸杉Bluvicってどんなチーム？

いつも元気に挨拶してくださって気持ちがいいですし、休憩のタイミングが合ったときに、私たちが流す音楽に合わせて一緒に体操してくださったり、皆さんとってもフレンドリーです。最近では、試合で活躍されたと聞くと、おめでとうと声をかけ合ったりしますよ。

自分たちの隣で、世界トップレベルの選手が練習されているなんて、すごく光栄です。応援していますのでこれからも頑張ってください！



下羽栗のびのび体操サークルと丸杉Bluvicの皆さん



余暇時間の拡大や高齢化の進行、住民の健康に対する意識の高まりなど、健康にいきいきと生活し、住民間のコミュニケーションを図るうえで、スポーツの果たす役割は大きくなっています。

令和2年8月、笠松町と株式会社丸杉は、「ホームタウンパートナー協定」を締結し、互いのスポーツ振興の取り組みを通じて、「豊かさ」と安らぎのある町」の実現を目指していくことを約束しました。



Profile: 福島 由紀 (ふくしま ゆき)

1993年生まれ、熊本県出身。青森山田高校-ルネサス-再春館製薬所-アメリカンバップ岐阜-丸杉Bluvic。女子ダブルス日本ランキング2位、同世界ランキング2位。2020年は廣田選手と海外ツアー2連覇の快挙達成。



Profile: 廣田 彩花 (ひろた さやか)

1994年生まれ、熊本県出身。玉名女子高校-ルネサス-再春館製薬所-アメリカンバップ岐阜-丸杉Bluvic。ランキングは福島選手に同じ。高校卒業後、福島選手とペアを結成し、フクヒロペアの愛称で親しまれる。



ひとつひとつ私たちがらしく。

皆さんの応援をパワーに変えて

- ー 延期となったオリンピックイヤーの到来。町内でも期待が高まっています。

(福島) 自分たちの大きい目標として、二人で優勝という想いがあります。1年延期になった分、そうした強い気持ちを出して、オリンピックの舞台で自分たちの100%以上のものが出せるように準備していきたいですし、それが金メダルという結果になればいいなと思って、目の前のこと、一戦一戦にしっかり取り組んでいきたいです。

(廣田) 総合会館で練習していると、笠松町の方にもたくさん声をかけていただいて、パワーをもらっているのです。それを力に変えていきたいです。自分たちの目標であるオリンピック金メダルに向けて、福島先輩も言ったように、ひとつひとつ私たちがらしく戦っていければいいなと思います。



まだまだ世界の舞台で活躍する選手が! /

西本 拳太

Profile: 西本 拳太 (にしもと けんた)

1994年生まれ、三重県出身。埼玉栄高校-中央大学-トナミ運輸-岐阜県バドミントン協会。現在は、丸杉Bluvicの練習に加わって、総合会館を拠点に練習。男子シングルス日本ランキング3位、同世界ランキング16位。



所属を変えて、丸杉Bluvicの皆さんと練習するようになった自分にとって、丸杉Bluvicと笠松町の協力関係には感謝しかありません。応援していただいていますので、結果はもちろん、子どもたちに夢を与えられるような選手になれるように、より一層頑張りたいなと思っています。

大会や遠征が続きますが、所属を変えたからこそ強くなったと言ってももらえるように、結果を残して、オリンピックの切符も掴み取りたいです。フクヒロ越えの活躍目指して頑張ります!(笑)

※ランキングは2020年12月10日時点

笠松町

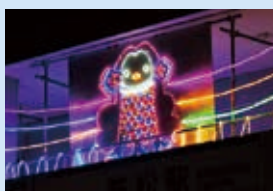
お気に入りスポット

バドミントンを通じて日本各地から笠松町へやってきた丸杉Bluvicの皆さんが好きな町内スポットは??



▲円城寺の蘇岸築堤記念碑公園周辺の桜の下で。のんびりお花見とはいかず、ランニング中の「ながら花見」です。

▶笠松に来て、馬が日常生活に溶け込んでいることにびっくり。練習に遅刻しそうで急いでいるときに限って、3頭くらいいっぺんに道を横断するんですよね～(笑)でもかわいい!



◀練習からの帰り道、ある日突然、笠松駅にイルミネーションがついていて二度見しました。高校生が作るなんてすごいです!

